

た。その結果、「隣は何をする人ぞ」みたいに都市のなかで人々が分断されてしまいました。ですから、日本の都市がむしろ社会性を失ってきてしまいました。今、これが犯罪の問題や社会不安の問題とも結び付いていまして、新しく新たにもう一度過去の町内会やコミュニティなどを再形成して、町のなかにも社会集団をきちんとつくっていくということが必要ではないかという議論があるわけです。

そのことを踏まえ、朱先生が提案されたような研究は非常に重要だと思いますが、そのあたりをどのようにお考えになるのでしょうか。もう一度言いますと、特に地域社会をつくり出していくときに、それをまとめる絆は、中国の場合では、どのへんに見いだすことができるのでしょうか。そのようなことを少し考えました。

それから、孫先生のお話は私も少しだけですが、青海省をのぞかせていただいて、非常に実感を込めて先生のお話をよく理解することができたと思います。

黄河の下流が非常に汚れているのは、青海省の

人たちが河で手を洗うからだというような冗談を言われましたが、昨日の写真でもわかりますように非常にきれいな河でした。黄河ではなく、白河（ホワイトリバー）です。まだ本当に弱い環境です。それゆえに触ると壊れそうな環境のなかで、経済成長もしなくてははいけません。新しい経済活動を、そのなかに導入したり、起こしたりするときに、環境は平野部の地域とはまた違うと思います。特に酸素も薄いんです。心臓の負担が大きいのので普通の人にはなかなか大変かなと思うところもありますが、いわゆる経済活動を新たにそこへ定着させる場合に、先ほど出てきました新しい省の名前がありました。青海省のような省は、人間活動の在り方に関してまで新しい案、あるいは提案、あるいは工夫というようなものを持っておられるのかどうか、そのあたりも聞きたいと思いました。

簡単ですが、4人の方に私からの質問状という大げさになりますが、お尋ねです。では早速、宋先生のほうからお願いします。

ディスカッション

○宋献方 非常感谢宫沢和藤田先生。我想宫沢先生讲的水安全问题，和藤田先生讲的城市和乡村的问题，实际上对中国来说，不仅仅是对中国，对人类来说，实际上关键的问题是经济发展和环境保护的一个根本的问题。中国现在提出来一个和谐社会，水安全的问题同样应该说现在中国的水问题非常突出，也就是说从南到北，到处都是问题，中国经常讲的说水多了，经常有洪水，水少了，北方地区经常缺水，水脏了经常水污染，对中国来说随着经济的发展，现在水的污染问题比水少了更为严重。现在中国、中国政府，刚才青海社科院的这个孙院长讲的，青海省的这个生态保护的问题，中国一个最大的问题，现在看20年前或30年前中国中央政府的报告，很早就讲生态保护生态平衡。但是上面中央政府的政策讲起来非常清楚，但是执行下来非常的困难，也就是说人类的一个根本问题，也就说经济发展到不了一定的水平，你要谈生态保护

要谈环境保护实际上非常困难。我们讲的这个，上午侯先生提的一个问题，也是一个关键的问题，到底有没有捷径，就是我们少污染。当然，严格意义上讲，现在中国走的路我觉得这个国际中国学研究的这个目标对中国来说因为日本走了很多道，中国正在学，因为中国的经济改革也好市场经济也好，很多是学日本的，中国近代政治也是学的日本的明治维新，包括中国共产党的这个词，都是从日本学的。我们经常讲的中国近代的政治家，严格意义上都是从日本留学回去的。第一代留学生到欧美的留学生，基本上成了科学家，到日本留学的人成了政治家，包括孙中山先生也好，包括周恩来总理也好，都是从日本回去的。为什么到日本留学的都成了政治家，包括在日本比较有名的一个鲁迅先生，他是学医的，后来都不搞医学了，也搞作家，他去搞政治去了，都是一个值得深思的问题。因为这是一个文化的区别，我想中国可以学习日本的已经走过的

路，少走一些弯路，但是话说起来容易，做起来非常难。对中国来说 13 亿人口，上午山本先生讲的这个数字，我想这一个数字看法，拿这一个数字来，只看总量不行，只看人口比例也不行，应该两个方面统一来考虑。我想上午李先生也讲了一个对数字的看法问题，因为单看一个数字的话肯定会出现一些偏差的问题，这些是大的问题，我想我就不扯那么远去。水安全问题，中国政府同样对一个流域机构，刚才山本先生提了一个管理问题，中国流域从形式上每个大的流域都有管理机构，现在的问题是流域机构的机能没有发挥出来，因为机能它没有行政权力，只是一个形式上的管理权力。可能将来中国在实行一个新的改革，可能会加强这方面，但是这个做起来很困难，包括青海省社科院的孙院长讲的青海的这个生态补偿的问题。从中国中央政府来讲，现在在全国推广的一个大的动作，在中国叫功能区划分，也就是说全中国来定位，你比如说青海，你要做什么，比方说北京应该做什么，比方说河北应该做什么，还有一个全国功能区划的一个大的一个动作。但是中国最大的问题就是所有大的政策制定出来，上有政策下有对策，这个问题现在没有很好的办法。当然，包括以前环境组讨论的时候，从上到下还是从下到上，这样对中国来说所有的和谐社会也好，水安全也好，都是存在一个问题，都是说中国我觉得共产党建立政权开始，当时毛泽东主席讲中国是一穷二白，所有的政策实际上想的都是好的，包括人民公社的建立，包括一些合作社的建立，从理论上讲这些都应该，我觉得中午毛里先生讲的，应该是好的形势。但是只不过现在回过头来看，不符合当时中国的经济水平，有些执行起来偏差了。我想这个问题中国所有的政策所有的大的动作都是在边学习边摸索，虽然昨天侯先生讲的中国已经过了摸着石头过河的阶段，已经不要白猫和黑猫了，但是可能中国很多的政策尤其是从计划经济向市场经济转变的过程中还有很多问题没有解决。像城市和农村的问题，刚才藤田先生提的问题，上午也有两位农业经济专家讲城市和农村的户口移动问题，的的确确在中国户口户籍的问题应该说是中国的封建时代的产物也好，或者说是历史产物，中国的户口在 50 年代共产党建立的政权以前中国可能没有这个户籍制度，现在是有户籍制度的。农村的叫农村户口和非农村户口，但是现在最近几年已经有所改变。很多地方的城市现在的户口是可以

移动的，当然对上海、北京、天津这样大的城市，现在还没有那么多自由。也就是说中国由于人口众多，所有的政策在制定的时候，可能会有好的出发点，但是往往执行下来有很多问题，包括现在农村，中国现在最近我们地理所有专门的农村研究中心，他们在接到国家的一个任务。我来之前，也是我们这个环境组的成员在谈这个问题，就讲谈这个农村的土地化的问题，大家都想住好房子住大房子，都纷纷的扩张。中国的耕地面积，现在中国政府提了一个口号是要保护十八亿红线，也就是说不能少于十八亿土地，十八亿亩，中国的计算单位叫亩。中国农村的土地利用扩张非常厉害，有一个说法，这个大家也知道，把中国的农村城镇化，通过城镇化以后就会大量的把很多以前的土地再恢复出来。可能这是中国近期要做的一个动作。我的同事，地理所的有一位研究员他很快会给大家，给中央政府提一个，到底这个计划实施之后会有什么大的变化。这个方法这个想法中国在十几年前就有，只不过以前没有这么大的经济财力，现在中国确实到了做很大动作的时候，包括我们孙院长讲的青海省的生态保护问题。我知道的范围内科学院我们地理所就针对青海省的生态保护从国家拿到了 2 个 3000 万以上的项目，来保护中华民族的水库，保护中华民族的发源地，等等一系列大的工程。我回答问题可能时间长了，但这些问题都很难回答，那我就简单回答到这里，谢谢大家，谢谢。

○座長 どうもありがとうございました。時間の関係もありまして、あと 1 人 2 分ぐらいずつでお願いします。あと、少しフロアの方のご意見もいただきたいと思います。

○一ノ瀬 わかりました。可能な限り手短にお話しいたします。たまたま私と藤田先生と宮沢先生、3 人とも地理学の出身です。宮沢先生から、それぞれの地域によって自然の多様性があるため、一番いい環境を考えたデザインはさまざまではないかという話で、まさに多様性を学ぶのは地理学の使命だと、私は思っています。

当然、その地域によって気候が違うため、材料あるいは建築様式、建築の使い方、習慣、これは全然違います。これを必ず考察しながら、一番いいものをつくっていくというのが、まさに環境を考えたデザインであろうと考えています。

ヨーロッパなどでは、中くらいの町はだいたい

内陸にあります。その気候の特性は、中国では重慶や四川盆地の成都などに近いわけです。当然、何を重視するかという優先順位が違います。日本の名古屋や東京は海のそばですから風の流れに満ちたところですから、大気汚染については、多少汚いものが出て、わりと簡単にきれいになる可能性が、総体的な話としてあります。しかし、重慶、成都、ヨーロッパの内陸都市では難しいです。特に、ヨーロッパは緯度が高いため、冬の太陽エネルギーが小さいです。そうすると、ものすごく地上付近の空気はよどんで汚くなってしまおうという問題があります。

それと、先ほど藤田先生のご指摘にあった、垂直に伸びる都市はいかがなものか、という点です。これは、確かに垂直移動、エレベーターなどでエネルギーをたくさん使うということで、「低炭素都市」が1つのキーワードになっていますが、それにある意味逆行するととらえられる可能性はあります。

華東地域で小城镇、英語で言うとコンパクトシティ（compact city）ですが、このような試みがいろいろとなされているという話も聞きます。中国でも、この低炭素都市、コンパクトシティのフィールドが、これからいくつか出てくるのではないかと思います。

先ほどは舌足らずな説明で、もう少し詳しくお話したほうが良いと思う点があります。最近の中国のニュースで、日本でも気になっている話は、政府と農民が衝突しているケースです。暴動が起きて、いろいろと大変なことになっています。それは、狭い意味での民主化でしょうし、「和諧社会」は、狭い意味において経済格差是正だけを強調する場合には、トップダウンで「おれの土地は、そんな計画に協力しないぞ」とごねるような地主を押し潰していいものをつくるという考え方にとっては、多少阻害要因になるのではないかと思います。理解ですが、日本や西側諸国でそのアクションを取ろうとするとなかなか難しいです。ところが、中国では可能性がまだまだあって、それを逆に先進国側が学ぶというところを、私は考えて先ほどのような話をいたしました。以上です。

○座長 はい、ありがとうございました。では、続いてお願いします。

○朱 はい、コメントをありがとうございました。宮沢先生からのご質問は、「社区」が政府からの程度独立したものであるのかというものだったと思います。

今回の発表の目的としては、地域社会という機能的、規範的な概念の確立を目指して、これまでの先行研究の検討をおこなったものです。1つの目的としては、「社区」が行政的な概念によって、あまりにも汚されてきたところを、行政要素、すなわち上から社区をつくらせているという力を取っておいて、次に何が見えてくるのだろうかというのがあります。そのように見えてくる現象、機能なりが単発的なものなのか、それとも地域に根差している活動、集団形成、あるいは構造的な要素を持っているのだろうか、というものをすくい上げて表現していこうというものです。

そこで、確かに上からつくられている社区という特徴があります。今のところは「両義性」という言葉で、社区の特徴を表現したらいいのではないかと思います。上からの力と、下からの力が同時に絡みつき、葛藤を避けつつも緊張感を高く持った状態である社区というユニットに対して、それぞれが力を伸ばしていく、このような現象を私は双響現象という言葉でとらえています。

例えば、EU（欧州連合）で見られる地域社会の活動が都市行政、そしてこの都市の権力構造に結び付いていくようなサブシディアリティー（subsidiary）という構成原理が見られません。主体的な側面より、都市においては客体的な側面が非常に強いというのが社区の立場です。

2つ目は、藤田先生からのご質問ですが、おっしゃるとおり「地域社会」という言葉は、日本では地域社会学会があるほど研究されています。定義も多元化されてきて、ここで藤田先生は、町内会や近隣という言葉に限定して質問をくださいました。確かに日本は1960年代、1970年代、高度成長期とともに行政化、市場化、この2つの領域が確立することによって、地域の一般的な課題、政府なり、市場なりによって吸収されていきました。

ですから、人々が地域で結束するための課題、もしくは問題が減ってきているわけです。そのところで近隣、社会、町内会が衰退化してきまし

た。もちろん、高度成長期ですから、人間の移動が増え、均質性の高い近隣、異質性の高いマンション、居住形態も含めて高くなっていったわけです。このようなところから、日本政府主導で「人間性を取り戻すために」という言葉で、コミュニティづくりをやったわけです。あれは結局嘘に終わってしまうのですが、日本のコミュニティ研究の代表的な研究者である倉沢進先生は、「日本政府主導のコミュニティづくりは、結局、施設づくりで終わってしまった」ということをおっしゃっています。

藤田先生からの2つ目の質問は、「絆」です。コミュニティ形成や地域社会形成の話についてですが、おそらく地域包括的で、全人格的で、同じ言葉、同じ文化、もしかしたら同じ生活様式をといるところで、共通性の高いというものを持っているコミュニティ的な絆がもう薄れてしまっていると思われま。では、地域で結束するためのきっかけはもうないのでしょ。そうとは思いません。やはり、共同居住という前提で、潜在的に共通課題が存在しているわけ。問題なのは、このような潜在的な課題、これに直面して人々が結束するための可能性、つまり潜在的な協同の可能性です。どのように顕在化してくるのでしょうか。このようなものが顕在化してくると、コミュニティ的な絆ではなくて、アソシエーション (association) 的な絆になってくると思いま。

一ノ瀬先生がおっしゃっている、「ゲマインシャフト (gemeinschaft)」「ゲゼルシャフト (gesellschaft)」という言葉ですが、やや抽象的な言葉で申し訳ありませんが、これからどのようにして潜在的な協同の可能性が共通の課題、それとも問題によって顕在化されてくるのか、そのところである種のアソシエーション的な絆が確認されながら、地域形成されていくということに注意深く考えていきたいと思いま。

○座長 どうもありがとうございました。では孫先生、お願いします。

○孫発平 关于青海省提出的生态立省战略，在我的稿子里面有一个提纲，文章的全部内容我带有电子版，可以交到会务上，感兴趣的专家可以看全文。我简单的说一下，这里着重需要处理好的，一个就

是生态怎么保护的问题，一个就是怎么发展的问题。关于生态保护最主要的是按照中国目前正在做的主体功能区的划分，按照这种划分来进行保护。从青海省来讲，第一，青海三江源地区，三江源地区属于禁止开发或者是限制开发的地区，所以三江源区已不考核GDP，三江源区也不会出现像80年代采挖金子的现象，现在也不上工业项目，它属于禁止开发或者限制开发的地区，国家已从2005年开始到2011年，用6年的时间投资75亿元人民币进行治理，这项工作正在进行，并取得了初步成效。第二点，青海环青海湖地区，它的生态地位也很重要，所以对它的生态治理也是一个很重要的方面。目前国家已经投资人民币15亿元进行治理和保护。第三点，青海东部地区，以西宁为核心的东部地带水土流失很严重，所以主要是水土流失的治理，湟水河的治理，目前青海省也再拿方案争取国家支持。第四点，青海的柴达木盆地，柴达木盆地被称之为中国的聚宝盆，矿产资源非常丰富，但又属于荒漠化比较严重的地区。由于资源丰富，属于青海加快开发的地区，主要是矿产资源的开发利用。中央政府已经批准成立了全国13个循环经济实验区，其中柴达木循环经济实验区就是一个。通过发展循环经济对这里的资源进行综合开发循环利用，尽量减少资源的消耗，尽量减少生态环境的破坏，使资源发挥更大的效应，使青海能够比较快的进入新型工业化的轨道。在加快发展新型工业化的同时，还要大力发展生态农牧业和生态旅游业，因为青海总体来讲人口比较少，这块土地还没有更多的被污染，发展生态农业、生态畜牧业的前景还是非常广泛的。通过大力发展生态旅游业，可以带动居民收入的增加，带动信息的交流、传播和社会的进步，以及居民素质的提高，所有这些就是说，一方面要加快生态的保护力度，一方面要促进经济的发展，最终走向人与自然和谐发展的一条道路。另外，为了加快青海生态环境的保护和支持，中央有可能出台三江源地区的生态补偿政策，这方面我们也做了一些研究，写了一本书，由北京中国环境科学出版社出版。感兴趣的专家也可以看看，书名叫《中国三江源区生态价值及补偿机制研究》。谢谢！

○座長 どうもありがとうございました。それぞれ熱弁を振るっていただきまして大変ありがとうございました。あと、予定時間が5分ぐらいに

なってしまいましたが、1人、2人ぐらいに質問を受け付けたいと思います。では、先に手を挙げられた方。短い質問でよろしくをお願いします。

○会場(方李莉) 这是我对今天下午的演讲非常感兴趣,就是说刚才宋先生讲的要是我们的环境破坏了我们就不会有和谐社会,到环境破坏了,资源没有了,经济也不会发展,所以这是非常重要的问题。所以今天刚才说环境问题总是放到最后的,今天有幸放到前面了,但是我在这里讲,其实环境背后还有一个很重要的问题,就是一个文化的问题,那么文化的问题跟更是大家所看不重的,那是明天的问题,所以一切的造成都是我们的行为,我们的行为是靠我们的观念我们的文化来指导的所以这也是很隐蔽的问题。在这里我要向孙先生提一个问题,因为我去年曾经开车去过青藏高原,考察过青藏高原,所以刚才我也跟大家强调过青海的生态很重要。青海的这个我们也看到国家一大系列的政策都是非常有利于青海的未来的发展,但是我认为所有的政策和技术都不是最重要的。最重要的是人,人和自然的关系,那么人和自然的关系就是人的观念的问题,也就是个文化的问题,我很想了解青海政府有没有在对人的观念的问题人怎么和自然互动的问题做过研究,刚才宋先生,宋献方先生讲的,我们国家经常出现一些好的政策,但是最后执行起来总会有偏差。总是流于形式和口号这是为什么,是不是我们经常没有关注到它背后的问题,因为我去考察的时候我曾经关注到了,青海它之所以环境在历史上还比较好,又薄弱但是又非常重要,但是它相对比较好。其实与当地生活的人们的生活观念是很有关系的,尤其是藏民他们相信佛教,好,马上停止。他们经常向佛请求的就是平安二字,平安不光是人的平安,还有树木,生态所有的平安,我认为这是很智慧的。但是随着旅游业的开发还有火车汽车的交通的方便,会不会我们内地的观念会不会也给他们,让他们也不安于守着那么贫困的生活,我想知道这方面的问题。

○座長 ありがとうございます。今のはコメントということにさせていただきますでしょうか。もうお一方。

○李 问一下孙院长,我看了好几遍《青藏的水可以救中国》这本书,你们从青海怎么看?这是第一个。第二个,非常に今日は地理学の専門家が多いので、水資源の問題は、私が見たところで、緑の

革命のせいだという説があります。人口の増加によって耕地面積が増え、食糧増産で水が足りなくなる、という構造的な問題です。中国の人口は世界一ですから、中国の実験と抱えている問題は、まさに人類そのものの問題です。これは解決できそうもないといっているのでしょうか。

○宋献方 对中国来说人是最大的问题,水也的确是个大问题。我后天回国要去参加东北项目论证,我们李先生的老家,中央政府希望增加粮食两千亿公斤,增加两千亿靠什么,水,水中国怎么办,中国就一系列的大的调水工程,会产生什么问题,实际上有很多问题。

○孫堯平 刚才宋先生也讲了,水是生命之源。因为从中国来讲,青海属于三江源头,我觉得青海的水对中国的可持续发展,对中国的前途和命运都是至关重要的,所以对三江源的保护不仅仅是青海人民的责任,也是全中国的责任,也可以说全世界都有责任对它进行保护。同时,保护青海的水更主要的实现人的发展,人类社会的发展,而人的发展又是以文化作为底蕴,所以青海的生态立省战略主要包含三个方面的内容:一是保护生态环境,二是发展生态经济,三是培育生态文化。可见,青海在保护生态环境的过程中非常重视特别是三江源头藏民族遗留下来的传统民族文化和宗教文化的传承与发展问题,并采取了一系列的措施在保护它,对于一些特别优秀的文学艺术、诗歌以及表演艺术等等,在不断的挖掘和整理,作为人类共同的非物质文化遗产加以保护。同时我们也积极宣传藏民族以及藏传佛教中对于生态环境非常有益的许多理念。因为藏传佛教祈求来世,保护生命,任何一个物种都是它要精心呵护的对象,不论是动物还是植物,所以从传统立场上来看藏传佛教都有保护生态的内容,这就需要我们不断把这些内容发扬光大。当然在这个过程中也要不断提高各民族的文化素质,通过发展义务教育和职业技能培训,不断提高各民族的文化素质,使他们能够随着社会的进步逐步融入到整个人类社会发展的潮流中去。过去有些人有一种观点,认为保护三江源的生态环境就是要保留它最原始、最淳朴的生活方式和传统文化。但是这些人有没有想到,一个民族需要不需要发展,需要不需要进步。也许你觉得最原始的可能是最好的,但是,如果一个民族不发展、不进步了,对这个民族到底有什么好处?所以我认为随着人类的进步,

各民族应该共同进步发展,各民族应该共同融入到世界经济一体化的潮流中来,融入到工业革命的潮流当中来,只有这样,每个民族都能够得到发展,人类社会才能够共同繁荣进步。好,谢谢!

○座長 どうもありがとうございました。青海省から熱い思いをうかがわせていただいたと思います。時間を少しオーバーいたしました。これで環境セッションを終わらせていただきます。今日は、それぞれの報告者の方々が非常にそれぞれ

熱い思いを持ちながらご講演いただきました。その点では、いろいろな問題も明らかになったと思いますし、ほかの分野ともいろいろな接合点があるかと思っています。まだお手が挙がった方がおられますが、今から休憩がありますので、個別にお願いいたします。では、長時間ありがとうございました。これにて終わらせていただきます。